

NIPPO  
執行役員関東第二支店長

丹 晴彦氏

支店長



## 安全と確かなものづくり

首都圏の茨城、栃木、群馬、千葉県を管轄する支店のトップに就いた。支店長方針に「お客さま第一主義」を掲げ、「安全と確かなものづくり」を通じ顧客満足度を高めたい」と抱負を語る。

入社以来、地方勤務が多く

九州や関西、北海道などに赴任した。重視したのは「一つの仕事を丁寧仕上げ顧客と良好な信頼関係を築く」こと。どんなに多忙になっても「1件1件を大事にする」姿勢を今後も貫いていく。

官庁工事は国土強靱化対策

るSDGs（持続可能な開発目標）や脱炭素化などの達成に向け「二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量削減など環境配慮型の技術や工法も積極的に提案したい」と話す。

職場ではコミュニケーションを重視し「風通しの良い環境づくり」に注力。人材育成では「とにかく勉強を重ね知識や経験を蓄積することが大切」と思っている。失敗もあるだろうが「堂々と胸を張って仕事ができるよう頑張りたい」と話す。

などを中心に受注拡大を目指す。民間工事は企業誘致が盛んな北関東自動車道などの周辺エリアに注目。「施設誘致に伴う外構工事や周辺道路、造成工事などの受注確保を狙っていく」考えだ。

3カ年の中期経営計画が4月にスタートした。柱に据え

57歳

（4月1日就任。室蘭工業大学工学部卒。北海道出身、



丹 晴彦氏  
（はるひこ）

## 支店長席

### 「安全で良い仕事」を徹底

4月1日付で就任。関東第二支店は群馬、栃木、茨城、千葉の4県を担当している。「国、民間ともに仕事量のある地域。国土強靱化への対応、高速道路の維持修繕、

NIPPO  
執行役員関東第二支店長

物流施設関連の工事などに取り組みたい」と抱負を語る。

受注に向けて、国関係は「工事情報の中から案件を見極め、総合評価で勝てるように努力する」と

し、民間は「競争が厳しく、提案や技術力、環境に優しい工法の提案などを全面に出していく」方針だ。

支店運営では、「顧客の信頼を得ることが大事」と強調する。災

害ゼロ、CSR（企業の社会的責任）、確かなものづくりで信頼を得て、「安全で良い仕事をする」ことを徹底し、リピーターを増やしたい」と考える。

現場の課題については「一人で判断せず、直ちに支店に上げるよ

う指示している。組織で対応することで、課題解決の水平展開につながる」とみている。

働き方改革では、4週8休の目標達成に向けて取り組み、「空いた時間を有効活用し、キャリアアップにトライしてほしい」と社員に期待をかける。

人材育成ではOJT（職場内訓練）に注力する。「現状を把握し、目標を与え、対応できるようにする」。さらに、安全や品質確保の教育にも力を注ぐ。

1986年3月室蘭工業大学工学部卒業、同年4月日本鋪道（現NIPPO）入社。九州支店工事部長、北海道支店工事部長、関東第一支店工事部長、関東第二支店工事部長などを歴任。趣味は歩くこと。北海道出身、57歳。